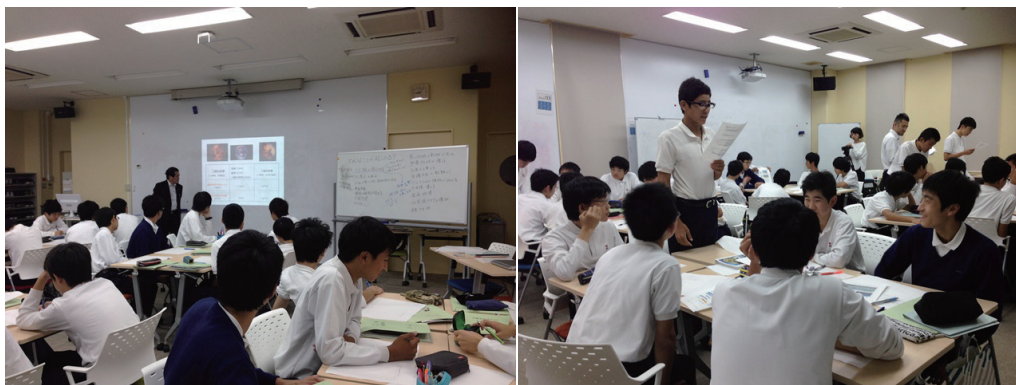




温暖化による影響を考え、問題解決のために話し合ってみよう！ 学校法人甲南学園 甲南中学校で出前授業を行いました

2017年10月13日（金）、甲南中学校（兵庫県芦屋市）で出前授業を行いました。CASAが同校で出前授業を行うのは2016年9月に続いて2回目のことで、今回も中学3年生の皆さん2クラスを対象にそれぞれ2時限ずつ、計4時限を担当しました。



1時限目は、生徒の皆さんに6～7人のグループに分かれてもらい、アイスブレイクを兼ねたグループワークから。＜地球温暖化が原因で起こっている現象やそこから生じていると考えられる影響にどんなものがあるか＞をできるだけたくさん出し合ってもらい、グループごとに発表してもらいました。「砂漠化が進む」、「海水面が上昇して、低い海拔の国が沈む」、「熱中症が増える」、「伝染病リスクの増加」、「食糧不足から飢餓になる」など、出された意見はどんどんホワイトボードに書き出し、CASA専務理事早川がコメントしたあと、「地球温暖化とその影響」と題して、地球温暖化のしくみをおさらい。二酸化炭素（CO₂）濃度が400ppmを超えたこと、世界の平均気温が上昇していること、地球温暖化の影響が広範にわたること、そしてすでに影響が観測されていることなどを説明しました。

2時限目もグループワークでスタート。グループのなかでさらに2～3人ずつの、立場A＝小さな島国、立場B＝先進国、立場C＝新興国という3つの設定に分かれてもらい、それぞれから来た留学生になりきってもらって、地球温暖化問題の解決のためどうしていくかを話し合ってもらいました。まずは立場別ロールプレイカードを読み上げ、それぞれの母国が置かれている状況や立場を相互に確認しあいます。立場別・代表的な国々のGDP、人口、CO₂排出量のデータを参

照しながら、問題解決のための話し合いを進めます。話し合いにあたってのルールは「立場が違ってても、問題解決をあきらめないこと」、話し合いのコツは、「『対立する点』を考えるのではなく、『一致できる点』がないかを探し、『自分も譲歩する代わりに相手にも妥協してもらおう』ことを、いかに説得力を持って話せるか、それを工夫すること」とし、最後にどんな話し合いが行われたかを発表してもらいました。グループワークを受けて、CASAスタッフ土田から「地球温暖化の国際交渉」と題して、パリ協定の何が「歴史的」なのか、なぜパリ協定に合意できたのか、温暖化問題において日本が世界からどう見られているか、などを伝えました。

今回は、ご担当の甲南高等学校、中原敦先生から具体的なアイデアやご提案をいただいたので、それをもとに先生と検討を進め、立場別ロールプレイカードや、立場別・代表的な国々データを準備して臨みました。生徒の皆さんは非常に精力的に参加してください、普段から温暖化のニュースをキャッチしていることがうかがえ、頼もしさを感じました。

CASAは小学生、中学生の皆さんのところへ温暖化の出前授業に伺います。内容や開催場所などについては、個別にご相談させていただきます。

土田 道代 (CASAスタッフ)